

Press Release

2007 年 11 月 8 日

工場内全ての工具情報をリアルタイムで収集 品質管理に大きく貢献

工具管理システム“MCC-TMS”の本格運用開始

森精機製作所はマシニングセンタと複合加工機に適用可能な工具管理システム“MCC-TMS”を弊社千葉事業所の加工工場に導入しました。

本システムは、2006 年 10 月より弊社の同工場内マニファクチュアリングセル(LPP、CPP)に対して適用しておりますが、この度、全加工機への接続、運用を開始いたしました。

従来は工具番号などの工具属性情報は加工機毎に設定されており、工具の所在や状態を一覧で見ることができませんでしたが、本システムを導入することにより工場内の全加工機の最新の工具情報が一元管理され、事務所の PC からその所在や工具寿命、摩耗を確認することが可能となりました。

■導入のメリット

1. 工具寿命に達した場合には、PC の画面上にアラームを表示し、工具交換を確実にすることにより**加工品質を維持**します。
2. ツールプリセットと加工機をネットワーク接続することで、従来は手入力であった工具補正などの情報を素早く、正確に加工機に転送することができ、**段取り時間の削減、入力ミスの防止**を実現します。
3. 加エプログラム作成時に CAM からシステム内の工具情報をアクセスすることで、**実工具データでの加工シミュレーション**が可能となります。
4. LPP 用セルコントローラ“MCC-LPS II”と連携することで**工具寿命を加味したスケジューリング**(加工に必要な工具寿命と機械に取り付けられている工具寿命を比較して、加工が完了できるか判別して通知)を実現します。

11 月 14 日(水)～17 日(土)に弊社千葉事業所にて行われます**初冬プロダクティビティショー2007**で、本システムの運用を実際にご覧いただけます。

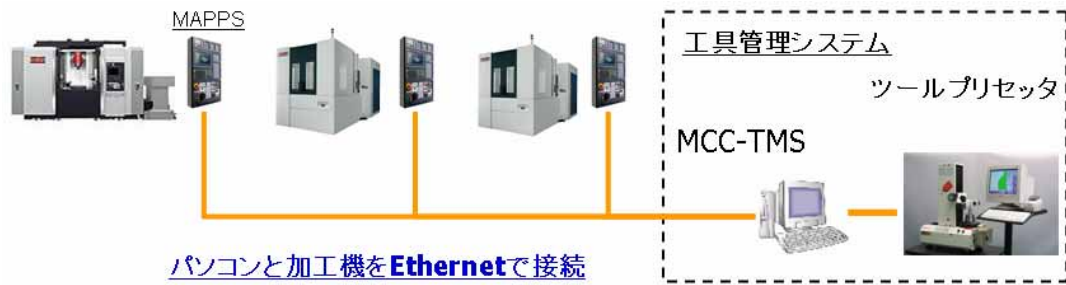


図 1: MCC-TMS

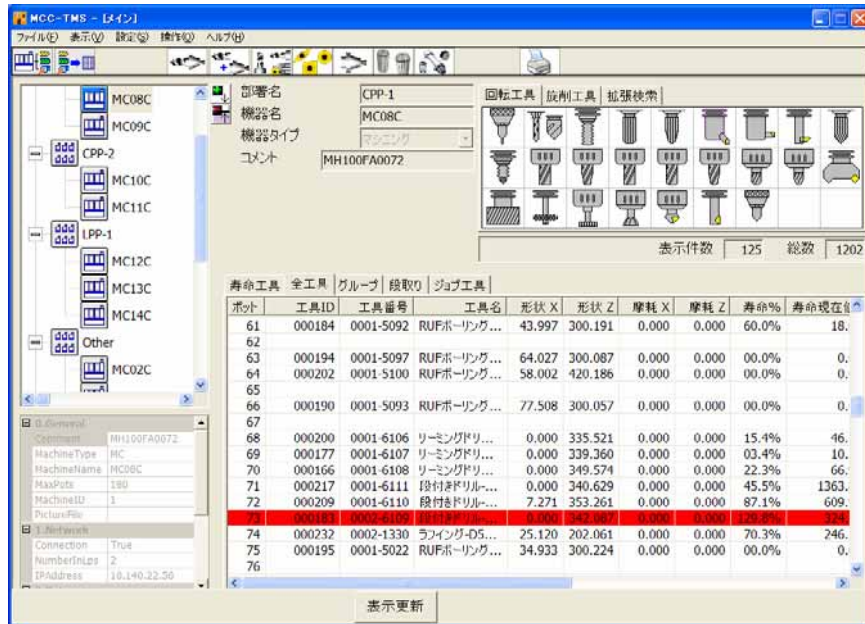


図 2: MCC-TMS(工具管理システム)の画面例